

問5 国の保育士配置基準が改善されれば、どのような良い点があると思いますか(記述)

232人が回答(全回答者の78.4%)

1	子ども一人ひとりにゆとりをもって接することが出来る
2	保育士はゆっくり子どもと関わり、楽しみながら保育が出来ると思う。
3	ゆとりをもって子供にかかわることができる
4	一人ひとりの子供に目が届き、子供の発達により良い支援、安全な保育ができる。保育士の負担が減り、準備や研修の時間が確保できる。
5	気持ちの余裕ができる。
6	子どものヒヤリにすぐ気づけ、事故が起きづらくなる。 生活面や遊び面でもっと丁寧に関われ、学びが広がる。 子どもに関わらない事務の仕事が捗り、仕事が円滑になる。 職員同士で話し合いができる時間が増え、子どものことをもっと情報共有ができる
7	・子どもたち一人ひとりに目を向けられるようになる ・事務仕事や休憩など、時間内に無理なく対応でき、個々の負担が減る
8	こどもとゆったり関わりこども一人一人の成長に合わせた援助ができます。また保育士の心に余裕ができることでストレスが無くなり離職率が下がり、不適切保育も無くなると思います。
9	職員の話し合いがこまめに行われ、安全に保育ができる。休憩時間や休暇の取りやすさに繋がり職員の気持ちに余裕ができ、前向きな保育が期待される。研修などが受けやすく、質の向上が見込まれる。
10	保育士が心のゆとりを持って子ども一人ひとりとしっかり関われることで、子どもの発達に必要な愛着形成や、一人ひとりの個性を大切に保育が行える。
11	一人一人に目が行き届く。安全の確保。園児の特性に配慮した保育ができる。
12	子供たちの気持ちにもっと寄り添い、子どものやりたいがもっと叶えられる
13	より安全で辞める保育士も少なくなるかと思います。
14	心のゆとりが生まれ、子どもたちの主体性も伸ばせると思う。
15	個々に寄り添った対応ができれば、子どもの発達にもよい影響がある。 保育士も気持ちに余裕をもって対応できる。 休憩時間をしっかりとることで、心身の健康に繋がる。 給与が上がる。
16	特に乳児において、基本的な生活習慣を丁寧に身につけさせられ、ひいては幼児期にまとまりやすい集団を作ることもなる。保育士の人員が増えれば負担も減る。
17	安全に質の高い保育が出来ようなり、丁寧な保護者対応ができる。書類記録等もできるようになり、休憩もとりやすくなり休暇もとりやすくなる。
18	今の指針に沿った保育が可能になると思う。指針が変わっているのに配置基準が変わらないのはおかしい。こちらばかり変われと言われるのもそろそろ限界です。
19	保育者の心の余裕と時間の余裕
20	安全を守れる
21	子どもの権利に配慮した保育ができる。
22	子どもとじっくり丁寧に関わることができ、成長、発達を細かく見守れ、一人一人にあった保育ができることが1番だと思う
23	全てにおいてゆとりが持てることで良い循環が生まれる。保育内容、子どもや保護者に対する対応、勤務時間、休暇取得。

24	こどもの要求にすぐに答えることができる。子供から目を離さずに保護者対応ができる。我慢をすることなく保育士がトイレに行ける。いざというときにこどもの命を守ることができる。保育士の心にもゆとりができ働きやすくなる。保育園は家庭支援、保護者支援の役割も求められるため必要な対応が丁寧ができる。一人で抱えず、たくさんの仲間と相談し対応ができる。
25	子どもの不安感は少しでも軽減されると思います。 職員の離職も少なくなると思います。
26	「安心安全」な保育を行える。職員との会話も増え良い職場環境になる。働きやすい職場を目指せる。
27	保育士が増えると、休憩も取りやすく、書類作成の時間を設ける事もできる。保育も子どもの主体性中心とした保育もやりやすくなる。
28	職員に余裕が出て、自身の体調不良時や自身の子の体調不良時に安心して休める。 有休が取りやすくなる。 保育の準備や研修などに充てられる。
29	こどもの人権が豊かに守られる
30	子どもの人権は守られるし、しっかり遊べて自分で考える力もつくはずです。幼児期遊びこめると、学力も高まることは証明されてますし、幼児期に健やかな人格形成ができれば犯罪率も下がるはずです。またまともな配置基準なら働き続けられる保育士や、就職しようと思う保育士資格を持つ人も現れるはず です。実際に周りでそのような話はでています
31	子どもの人権を守れる
32	保育士が余裕をもってひとりひとりと十分に関わることができる。
33	子どもひとりひとりに寄り添い、のびのびとした保育ができる 子どもの安全を守れる
34	一人ひとり、子どもに合わせた支援ができると思う
35	保育者一人ひとりの負担が減り、保育者を辞める人が少なくなり、休みを取りやすかったり、保育者の心の余裕ができ、問題になっている虐待等を行う保育者がいなくなると思います。
36	子ども達と、しっかり向き合い保育ができる。また、保育士の気持ちに余裕ができ、より保育を楽しめ、より良い保育に繋がる
37	怪我のリスクが減る もっと丁寧に子どもと関わることができる 保護者とももっと話をする機会を設けられる 保育士に心の余裕ができてもっと子どもに優しくできる
38	子どもが安全。トラブルなども丁寧に対応できる。一人ひとりとゆっくりじっくり関われる。保育士も安心して遊び込める→子どもの発達にも良い。気を張り詰めなくて良くなれば、あたたかい雰囲気の中で遊ぶことができる。子どもの一人一人の興味関心に寄り添える＝禁止事項が減る。保護者も安心。保育士も休みを取りやすい（体調悪くても保育士がいらないから無理して出勤することがなくなる）有給も自由に取れば心の安定や、仕事への活力にもなる。一人一人の様々な負担（書類や行事、清掃など）が減る。保育士が輝けるということは、身近なお手本が輝いているということ。こんな大人になりたいと思えるようになる。
39	先生の不安やイライラが減り、笑顔になり、子どもも笑顔になる。子どもが安全に過ごせる。自由に過ごせる。
40	もっと丁寧に子どもと関われ、保育指針にもあるように子ども主体な保育ができる。

41	<p>配慮な必要な子やひとりひとりの子どもに寄り添えるようになる。今は、そのような余裕は全くなく、とにかく怪我がなくみることだけで手一杯。保育者が足りないため、こども達も待たせたり、合わせることも求めざるおえず、保育指針に求められる「子どもの主体性」にはほど遠いので、保育者が増えれば、指針が目指すことをやっけていけるようになると思う。</p> <p>なによりも、子どもに接する保育者が心身ともに健康でなければ、子どもに良い保育はできない。保育者の心と時間に余裕がないことは、結局は、子どもに悪影響を与えてしまうと思う。</p>
42	働きたいと思う人が増える
43	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの発達に即した適切な保育、援助が行える。 ・子どものその時々心の動きを把握した対応ができる。 ・事務や行事準備、保育関係の記録に十分な時間が取れる。 ・職員間で子どもの姿や保育について、じっくり話す時間が取れる。
44	子供に寄り添うことができる
45	<p>子どもの安全性が上がる</p> <p>保育士が落ち着いてゆったりした気持ちになり、子どもへの対応も適切になる。</p> <p>子ども一人一人が尊重され、自立した大人へ成長する。</p>
46	子どもたちとより密に関わることができる、保護者の大変さにも気が付き、その対応も行うことができると思います。
47	<p>子ども一人ひとりに合わせた対応が必要な時に必要な形でできる。</p> <p>保育準備や記録など、時間内にできるようになる。</p>
48	発達の遅い子や対応の難しい子にも対応していけるとおもう
49	子どもたちの心がもっと温かく育つ
50	<p>保育士の質の向上</p> <p>保育士に余裕ができ子ども一人ひとりに寄り添うことがさらに深められると感じる</p>
51	一人ひとりの子どもに目が行き届き、子どもの最善の利益が保障されるようになる。
52	子どもとじっくり向き合う事ができるので、一人ひとりの子どもの要求を満たしてあげられる。
53	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の対応がしっかりできる ・緊急時の対応
54	保育の質の向上（怪我や事故の減少、保育内容の改善）、子ども・保護者・保育士の満足度、保育士の心の余裕から生まれる穏やかな雰囲気の中でも保育
55	子ども1人ひとりのやりたいことを尊重したり、丁寧に聞くことができる。関わるができる。
56	子どもたちに寄り添い、受け止め、個々に合わせた保育ができるので、よりよい発達の保障。保育士不足の解消。保育者の心身のゆとり。事務時間の減少。
57	<p>子どもたちの話を丁寧に聞き、遊びたい遊びを行うことができると思う。</p> <p>散歩などで人がいないから行けないということもなく、安心して安全に行けるようになると思う。</p>
58	子ども1人1人に寄り添える！
59	<p>子ども一人ひとりに寄り添う保育ができる。</p> <p>配慮の必要なお子さんや保護者への対応を複数の保育者で共有し、対応できる。</p> <p>現在は、勤務時間いっぱい子どもと関わっているため、勤務時間外で事務をすることが多く、職員間の話し合いを休憩時間を削っておこなっている現状があるが、配置基準が改善されることで、子どもから離れて会議を持つ十分な時間を取ることができ、より質の高い保育を実現できる。</p>
60	こどもの思いに応じて、ゆとりを持ち、保育が出来る。十把一絡げのような、保育はこどもも保育者も望ま無い。こどもも大人も大事にされる、保育現場になれば良いと思う。

61	子どもとゆっくり関われる。更に安全に保育が行える。
62	保育を楽しめる。 子ども一人一人のやりたい願いや葛藤に時間をかけてじっくり関われる。 自分でやり遂げるのを待てる。 学ぶ時間が持てる。 職員間で話し合い、保育を深められる。
63	保育士に心のゆとりが生まれる。子ども達に安全で発達を十分に保証できるかつどうができる。
64	今色々なところで問題になっている、保育士の目が多くなることで、子どもへの不適切な対応が減ると思います。人手が足りないから密室のようになるのだし、お漏らしの始末をしている間にけんかが起きたりするとひとりでは対応できなくて当たり前です。 現在の職場では常に数人で全体を見ることができるので、他の保育士が補い合っています。ただ、事務仕事や掲示物や教材を作ったりなどと並行では人手不足と感じています。
65	子どもへの関わりに余裕が出ます。その余裕は今までやりたくてもできなかった子どもたちへの関わりを可能にします。そのことで保護者との関わりが充実しますし、やらねばならない書類の作成などもスムーズになります。
66	特になし
67	長時間にわたる保育をより安全に、こどもの気持ちに寄り添いながら行うことができるようになる
68	互いにとって、余裕のある保育生活
69	保育士が休みを取れる、ケガを防止できる、子どもの発達や興味関心への準備または対応が充分にできるようになる、余裕をもって行事計画や書類子ども対応や保護者対応ができるなど。
70	上記の配置基準は発達障害の疑いがある子を含まない場合。3歳くらいまでは成長過程で様子見の場合が多く診断がおりない事が多々ある。そういった子どもが年々増えてきている。 子どもも言葉に耳を傾け「ちょっと待ってね」が無く常に寄り添った丁寧な保育を行える。それは子どもの情緒の安定に繋がる。 保育士の気持ちにもゆとりが出来、ニュースになったような虐待など減ると思う。
71	より1人1人の子に寄り添える、 保育以外の事務仕事が保育時間内で回せる、休憩の確保
72	安全が保たれる、保育士の確保に繋がる
73	子どもを見守る目が多くなる
74	一人ひとりに寄り添った丁寧な保育ができる。保育士になりたい人が増える。一人が担当する業務が減ったり休憩が取れてストレスが減る事で、子どもや保護者に優しく接する事ができる。勤務時間内に書類等の作成が終わり、休日は自分の時間が作れる。
75	一人一人の子供に目が行き渡る、保育士も余裕が出来る、有給も取りやすくなり体力精神面にもプラス
76	保育士不足の減少
77	子どもたち一人一人の気持ちを汲み取り、押し付けではない関わり・指導ができる。保育士が事務仕事を園内で済ませられるようになればプライベートの時間が削られない。
78	丁寧な保育ができる。子どもの成長、発達を保障できる

79	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離職率の低下 ・ 保育現場での事故の減少 ・ 不適切な保育の減少 ・ 非認知能力を育てるための丁寧な保育 ・ 保護者からの信頼、安心感の増加 ・ 余裕ができたことにより学ぶ意欲の増加。研修などを通して更なるスキルアップ→現場へ還元し、良い循環が生まれる
80	丁寧な保育ができる 保育者に心の余裕ができる
81	保育士も常に気持ちに余裕を持って保育が出来る 一人一人に丁寧に関われる
82	4, 5歳児の24対1は大型園でないと成り立たない。60人規模だと4, 5歳児合同も多い。育ちの姿もねらいも未就学児は1年違うと大きく異なるのに、子どものためにならない職員配置も多い。配置基準が見直されれば、各年齢に沿ったきめ細やかな保育が成り立つ。
83	トラブルや個別対応が必要な児への対応ができる。 保育や保育士自身の気持ちに余裕がもてる。 子どもたちとゆとりを持って関わることができる。
84	手厚い保育が出来る。
85	より適切な保育が常に出来る 保育士が健全な生活が出来る
86	子どもひとりひとりに丁寧な関わりができる。子ども自身の自己肯定感が、高まる。
87	子どもたちの気持ちに寄り添い、大人もこどもも笑顔がふえる。
88	子ども1人1人に寄り添う時間を取ることが出来る。保育者の事務負担が減る。
89	手厚く子どもたちを見ることができ、怪我も減ると思う。また、手厚くなることで、病名までついていないグレーな子どもに対しても丁寧に援助することができるので、子どもにとってもプラスだと思う。保護者も自分の子どもをよく見ていてくれることで安心感に繋がる。
90	まずは、勤務時間外の仕事が時間内にできるようになるとよい。 認定はつかないが、集団での生活が難しい子に、手厚くできる。(アレルギーもしかり) 職員同士で話をして共有する時間が、きちんと持てる。 休憩がしっかり取れれば(今は、実質取れていない)、労働の再生産性が上がる。
91	子ども達との関わりが、子どもの目線で関わりやすくなる
92	保育士が安心して質の良い保育が可能になる。園児の安全が守られる。
93	子ども一人ひとりに適切な支援ができる。 (今は、気になる子がいても、他で手を取られ見てあげられない時が多い)
94	月案や、年間計画の通りの、一人ひとりに寄り添った保育ができると思う。保育士が子どもの成長を願って行いたいと思っている保育計画が、きちんとできるということで、仕事へのモチベーションも持てる、そして安心やゆとりも生まれ、更に子ども主体の保育ができると思う。 小学校との連携も取る等、自分の保育園以外との繋がりができ、接続もスムーズだったり地域との交流も生まれ、社会全体が子どもを見守れる事になると思う。
95	職員の心の余裕もでき、焦った保育を行うことも減ると思う。また、人数に余裕を持てたら子どもの保育以外の仕事(書類など)も勤務時間内に出来ることも増えると思う。
96	小さい子どもたちの安全を考えるにはまず、そこで働く職員の配置を考える必要がある。 また、一般企業に比べ命の現場であるということから、配置数はもちろんのこと給与面も課題が大きい。
97	時間に追われていたが、改善されれば手厚くなる為、子どもたち1人1人に時間をかけることが出来る。今まで以上に色々な経験をさせることが出来る。

98	子どもの安全、人権が守られてた丁寧な保育ができる。今は最低限の安全を守るので精一杯。人権の研修ばかりだが、いまの配置では個々の欲求に対応していけるはずがない。 保育士が穏やかに関わられる事で子どもたち落ち着いて生活できるのでは。 また、保育士が社員で働こうと思えるようになり、保育士の働き方も変わるのではない。
99	子ども一人一人に落ち着いて対応出来る。
100	もっと、こども達とゆっくり丁寧に関われる
101	目が増えることで子どもの安全を守る。
102	配慮児への対応
103	子供たち一人一人に深く関わる事が出来る。 子供に寄り添う保育が出来る。 保育士の負担が減る。
104	目が行き届く分、ケガや揉め事、子どもの要求を聞いて判断をする時間が出来る。
105	保育士1人あたりの仕事量が減る。子どもと1対1で関わる時、他の子どもを残りの保育士で余裕を持って保育できる。休みが取りやすい。
106	・適切な保育環境と保育の質の向上。
107	保育者に余裕ができる。目が行き届く
108	子供に、接する時間が増え、ひとりひとりの個性がひきだせると思います。
109	安全の確保、保育士離職の減少
110	余裕を持って保育ができるようになり、 心にもゆとりが出来る。それが全てにつながると思う。(子どもの安全、父兄との関わり、保育準備など)
111	子どもに寄り添った保育ができて、子どもたちが自己肯定感を持てるようになる。保育者が心にゆとりを持って保育でき、子どもたちにも楽しい気持ちが伝わる。な
112	事故や怪我が減る。 保育士のゆとりが出れば、子どもたちに穏やかに関わることができる。 離職率が減る。
113	身体的にも精神的にも余裕を持って保育に挑めると思います
114	地方での配置基準格差がなくなると思う。
115	保育者の精神的負担軽減、潜在保育士の再就職など
116	保育士にも余裕が出来ると思うし、子どもとの関わり方にも違いが出てくると思う。 散歩や園外活動でも、保育士の目が行き届くようになれば事故や怪我也も減少するのではないかと思う。
117	保育者にもゆとりが生まれ、保護者の対応、子どもの対応の質がよくなる。ゆとりがないと、必要ないところで言葉選びが雑になったり、保育の質もゆとりがあることで活動にも幅がうまれる。 余裕がないと、いつものマンネリした活動で本当に子ども達にあった経験を保育の中に入れることができない。
118	保育士が増える
119	一人一人にもっと目を向けられる。 細かな変化にも気づいてあげられる。 配慮のいる園児と別のカリキュラムを組んで その子にあった保育が提供出来る。

120	子どもだけではなく、保護者をケアしなければならない状況もあります。 人数で決めていても、色々なケースの子どももいます。 ADHDだとほぼ確信できていても、療育に相談していなかったり、親が認めなければ健常児として生活しているので加配が付かずその分負担が増えます。 状況に応じて保育者の配置を園で決められてその分の補助を国なり市なりがしてくれれば適切な保育に近づけると思います。
121	子供達に安心した環境で、接する事ができる
122	子ども一人ひとりと丁寧に関われる。しかし、配置基準を見直ししても、保育士がいなければ保育ができない。良質な保育の為に保育士の質は勿論の事、保育を長く続ける環境が大切である。賃金の見直し、今のままでは、モチベーションが無くなり、人材不足に拍車がかかる。国は少子化と騒いでいるが、根本的に保育の重要性を理解しているのだろうか？
123	一人ひとりの発達に合わせた対応ができる場面が増える。援助の必要な家庭との連絡が今より密になる。 職員一人当たりの仕事量がすこしは、軽減される。
124	子ども達とゆっくり丁寧に关われる
125	保育の質がよくなる。
126	ひとりひとりに丁寧に応答できる
127	保育士を目指す人、また働こうとする人が増える
128	きめ細やかに子供を見られる
129	子供一人一人と丁寧に关われる。 保護者との関係も丁寧に关われる。
130	子どもとの関わり、保護者対応 職員の増員により、分担業務の軽減 ゆとりのある保育 休憩、有給休暇の取得
131	国が求める保育の質の向上、保育士確保、
132	のびのびとした、個性を大切にしたい保育ができる
133	一人ひとりの子どもに丁寧に关わり、成長を見守れる 丁寧に关われることで子どもの心の安定や意欲に繋がる 基準が改善されることで各年齢で複数担任になる可能性が高くなる為、大人も余裕をもって保育にあたる(負担が分散される) 災害時や防犯上、大人の目、手が増えることで事故や怪我を未然に防ぐ確率が上がる
134	障害児を療育できる
135	個を大切に誰かと比べられる事なく、ありのままを受け止めてあげることができる。 食事は楽しくゆっくりすすめることができ、事故につながるリスクが減る。 保育士に余裕ができ、保育の質が上がる。
136	保育士の負担が軽減される可能性がある。
137	気持ちに余裕が生まれ、こども一人ひとりを大切にできる
138	子どもたち一人ひとりとじっくり関わる事ができる
139	保育の質の向上、メンタルヘルス
140	安心・安全な保育を行うことができる。問題視されている不適切・虐待も軽減される。 保育士の負担が減ることで、保育士不足も改善される。保育士が長く働ける環境が整えば、待機児童問題も軽減されていく。
141	一人一人に寄り添った保育の提供

142	日頃の保育に余裕が出来、目が行き届く。
143	潜在保育士の復職の推進。 精神的かつ時間の余裕の確保ができるため、より安全に、より穏やかに保育を行うことができる。安全面では、少人数でのトラブルによるかみつき、引っかきを止めたり、屋外での活動で目の届く範囲が広がる点。 休暇を取りやすくなるため、心と身体を休めることができる。
144	保育者に余裕が生まれ、子どもたちの聞いて欲しい話などゆっくり聞いてあげられる。また、抜けて仕事できることによりより良い保育を考えられる。
145	保育士不足を防げるため、休みが取れ、労力も減り、離職が少なくなる。
146	大人と子供の関わりが増えることによる育ちへのいい影響や、書類の分担などの職員の負担軽減
147	保育に余裕ができ、ひとりひとりによりそうことができる。
148	子供の細かい部分がみれる。安全に繋がる
149	ケガや事故が、少なくなり保育士も働きやすくなる。
150	子どもにじっくり関われる
151	子ども一人ひとりに寄り添い、より手厚い保育ができる。安全面の確保も高まる。 保育士も、心のゆとりが出て、保育の向上につながる。
152	子どもの安全が守られる。 一人一人に丁寧な対応ができる。 子どもを急かすことなくゆったりとした保育ができる。 子どもの発達に合わせた保育ができる。 資格を持っていてもスキルに自信が無い人が保育の仕事に就きやすくなる。 休暇が取りやすく保育者に心の余裕が生まれる。 集団行動ができない子の気持ちに沿った保育ができる。
153	保育者の精神的余裕が出ます。休暇も取りやすくなります。
154	発達面で気になる子どもやその他の子どもに対してより丁寧な保育ができる。
155	子どもへの対応がより丁寧になり、個々の発達段階に合わせた保育計画が組まれることができる。危険だから、危ないから、、と懸念されていることも、子どもたちの意欲や挑戦心を育てる活動が安全に行うことができる。現に園庭は狭いのに散歩へ園外に出ない園も多々あるように感じる。 幼児期から獲得が望ましい体力作りも、人材あればこそ叶えられる。 未来を担う子どもたちのために、保育士の人数、保育士の給料も見直してもらいたい。
156	子ども一人ひとりに合わせた丁寧な関わりができる。保育士が多く配置されれば、業務を分配できるため負担が軽減される。
157	丁寧に関われば、余裕が生まれると雰囲気も穏やかになる。離職率を下げることにも繋がると感じる。
158	丁寧に関わり、子ども達の思いをかなえてあげられる
159	子ども一人ひとりに深く関わることができ、いろんな特性を持っている子にもその子にあった対応ができる
160	子どもたちが満たされ、保育士がより自分の理想に近い保育が出来るようになると思います。また、その理想を描く余裕がうまれたり、研修などへの意気込みにもつながり、園全体の質の向上につながると考えます。
161	保育士に余裕が生まれ、子どもへの目が行き届き安全が高まる。保育士の心に余裕が生まれ、子どもへの対応が丁寧にできる。多くの人数で書類を分担することで、1人の負担が減り、持ち帰りやサービス残業が減る。

162	先ほども答えたように丁寧な保育が可能になると思います。
163	子ども達への危険防止。 余裕を持って保育が出来る。
164	ヒヤリ・ハットや事故の件数が減り、子ども達とゆっくり関わりを持ち、発達や特性に応じた保育が今よりしやすくなると思います。また保護者からの相談にも対応して、家庭と園が常に連携して子ども達の育ちを見守っていかれると思います。
165	保育士が健康で長く働ける。賃金安くても我慢できることもある。
166	※ 災害時、屋内外への移動時等即座に人数確認が必要な時。 ※ 日常保育の中で子ども一人一人の思いに対応しやすい。 ※ 個別対応が必要な子どもへの対応がしやすい。
167	子供への対応時間をもっと丁寧に聞かれる
168	子どもの成長を今以上に細かく見られる
169	保育が安全に行える
170	子どもを安心して保育をすることが出来る。
171	保育の安全面と保育者の体力やゆとりのある保育ができて、内容が充実する。
172	保育士になりたくてなった人も辞めなくて済むと思う
173	子どもたちへの関わりが多くもて丁寧に聞かれる。保育士の仕事が分散できる。 活動の幅が広がる
174	心に余裕が持てれば、良い保育に繋がります。対人数が改善されれば目も届くようになるので本来起きないような事故もなく、保護者も安心して預けられると思います。
175	丁寧な保育に邁進できる
176	もっと丁寧に一人ひとり保育ができる
177	もっと丁寧にやりたかったさまざまなこと、仕事ができる。一人で大勢を見ていて、気を張っているの で、心身の疲弊度が違うのでは。
178	子どもへの対応に、余裕ができる
179	子どもの安全面、保育士の負担軽減
180	個々と深く関わる事ができる
181	一人一人と深く聞かれる
182	子どもに丁寧に聞かれて余裕を持って保育が出来る
183	負担が軽減、丁寧に接することができる
184	子ども達に更に丁寧に聞き寄った保育が行える
185	子どもたちに手厚い保育、丁寧な保育が出来る
186	子どもも保護者も保育士もみんなが安心して保育ができるようになると思います。
187	保育士になりたいと思う人が増える。 職員会議がやりやすくなるなど。
188	子どものトラブルや怪我を未然に防ぐことができる。
189	目が行き届く分危険も減り園児のけがを減らせる。ひとりひとりの子供との関わりの時間を増やせる。
190	子ども一人一人と関わる時間が増える

191	一人ひとりをよくみてあげらる
192	・1人ひとりの声をもっと丁寧に聞いて対応してあげられる。
193	1人で抱える仕事が少なく余裕ができる
194	一人ひとりにゆとりが生まれ、個々の忙しさからくるイライラの感情も少なくなり、誰にとってもプラスになると思う。
195	子どもに寄り添った保育ができる。職員間の連携がとれれば危険回避が出来る。事務作業が勤務時間内に終わらせられる。休憩がしっかりとれる。保育の質の向上のための研修の参加が増える。
196	保育士の気持ちの余裕ができ、より丁寧な保育ができる。保育士同士のコミュニケーションの時間も取れれば、情報交換を密にできたり、先輩から後輩へのアドバイスも受けられ、保育がより良いものとなりスムーズになると思う。
197	子供のことを、たくさん色々な視点で見られる
198	もっと子供一人一人に向き合え、 それぞれの子供の個性を大事にしてあげられる。
199	休みが取りやすくなり、 研修にも出やすくなるので保育士の質の向上にも繋がる。
200	子供の細かい気持ちなどに丁寧に向き合う事ができる
201	保育内容が充実し、より個別的な関わりもできるようになる。子どもたちが満足して遊びこめたりするようになる。保育が充実すると、将来的には日本の未来も安定する。
202	各子どものペースに合わせて自主的に子どもが生活ができる。 勤務時間内に事務仕事も出来る、 保育士疲れてくると、余裕が無いから子どもに強い口調になったりする。それが無くなる。
203	子ども一人一人の主体性、意思を尊重した保育が行いやすい。
204	残業が減り、適切な有給取得や休憩回しができる。それは仕事を続ける上でとても大切
205	子どもひとり一人それぞれへの対応出来るようになり、一斉保育が無くなること。
206	子どもたちの安全配慮の確保がしやすくなる。 子どもたち一人一人と愛着が深く関われる。 子どもたちとの関わりが平等に対応しやすくなる。 保育士の体力的負担の軽減が図れる。
207	丁寧な働きかけ。安心安全の保育。子どもたちの成長発達の向上。
208	配慮児が多い中基準通りに保育する事の難しさ
209	保育士が不足してるので、給料を上げて欲しい
210	保育士がゆったり保育できる
211	国の求める、今の保育に近づく。発達の遅れは3歳以降の診断が多いが、診断前の加配の役割も担うと思う。保育の人材も増えてくれるのかも。
212	保育士の数は必ず増やされるので業務が緩和される
213	個々との対応。職員間の話し合いや会話。ノンコンタクトタイム。すべて
214	保育者一人ひとりの負担が減り、子どもに目を向けやすくなる。子どもにもっと配慮して関わりが持てる。
215	子どもに対してより丁寧に保育ができると思う。あと有休や休憩が取りやすくなり、休みやすくなる。

216	保育者にゆとりが生まれ、子どもとより良い関係が構築される。子どもの情緒が安定し保護者にとっての満足感が高まり双方にとって質の高い保育が保障される
217	怪我の防止、決め細やかな保育、保護者への丁寧な対応、メンタル面の病気の予防
218	保育士に余裕ができ、一人ひとりの子どもとじっくり向き合う事ができる
219	一人ひとりの子どもに向き合える時間が増える
220	質の高い保育が出来る
221	現在も横浜市の基準より多い配置に気をつけていますが、特にケガとトラブルが少なくなったと感じる。
222	子どもたちに、安全に質の良い保育を提供でき、保育士の心身の健康がたもたれ、子どもの健全な育成に必ず良い影響があると思います。先に保育士の待遇を格段に上げて、担任を持てる正規の保育士を増やさないと、配置基準だけ改善しても、現場は保育士不足が増すだけなので、待遇改善を促進してほしいです。
223	保育士にゆとりができることで全て子どもへの良い影響となる。特にメンタル的なゆとり。保護者の安心にも繋がる。今起こっている事故やヒヤリハットが格段に減る。
224	まず、子どもの命を守るという最低限度のことだけでなく、多種多様な遊び、生活面の豊かな発育発達などの保障ができます。 有望な若い保育士が増えると思います。 私の周囲の潜在保育士は、ほとんどが収入面と不適切な配置基準が理由で保育士にならない選択をしています。私自身も、それを理由に保育士を辞めることを検討しています。
225	定時で帰宅できる 時間内保育準備が完了する
226	子どもたち一人ひとりの生活を保障したり、気持ちを受け止めていくということを考えるなら、もっと少人数にしないと実現できない。とにかく今は、加配児が多すぎるので今までのような保育ではまわらない。改善されれば少しは子どもたちと向き合う時間も増えると思う。
227	ひとりひとりの発達段階に合わせた保育ができる 保育士自身にゆとりが生まれることで、余裕のある保育ができる
228	子ども達が大人の都合で我慢しなければならないことが減り、もっと生き生きと楽しく活動（生活）できるようになる。
229	保護者も不適切な保育を心配しなくてよくなり、子どもにとっては安心安全な育ちの場となる。 保育園は子どもが長時間過ごすところ。緊張やストレスを感じることなく、一人ひとりが自分の気持ちを表現できる。
230	<ul style="list-style-type: none"> ・国が指針としている個々に寄り添った保育の理想に近付けることができる ・職員の心や体力の余裕が生まれる ・職務内容の分散化ができ、個人ごとの抱える書類等を分担することができる ・園児から離れた仕事を行うことができる ・休暇が取りやすくなる ・体調不良を素直に申告できる ・人材が定着すれば結果的に園の運営が安定するのではないかと予想できる
231	ひとりひとりに寄り添える。子どもの今！に応じられる。子ども達のやりたい事を実現できる。子ども達の個性を受け止められる。
232	全ての子どもに丁寧に関われる。